



RDA講習会 in Sapporo

英米目録規則 (Anglo-American Cataloguing Rules) は「AACR3」に改訂されるのではなく、新たなFRBR, FRAD, FRSADの概念モデルを基に、2010年にまったく新しい枠組みのRDA (Resource Description & Access) として刊行されました。すでにLC (Library of Congress), National Library of Medicine, British Library, Library & Archives Canada, Deutsche Nationalbibliothek, National Library of Australiaでは2013年4月からRDA準拠に変わっています。NACSIS-CATの参照ファイルでも見かけることが増えてきました。国立国会図書館では洋書における採用が決まったようです。

国際標準の動向として、図書館員はRDAとはどのようなものかを知っておく必要があります。しかし、AACRやNCRとは構成が異なり、予備知識なく理解するのは容易ではありません。

IAAL (大学図書館支援機構) では、2012年12月から2013年5月にかけて、図書館現場の目録実務担当者向けのRDA講習会を東京で開催し、毎回全国から100人以上の参加者がありました。東京以外での開催の要望も多く寄せられ、丸善株式会社との共催で「RDA講習会in札幌」を実施する運びとなりました。3回連続講座として東京で実施した内容を、1回に凝縮して行います。

2013/09/14

RDAをカタログガーの視点で読む

時間

10:00-16:00

場所

札幌駅前 アスティ45ビル

ACU(アキュー)研修室1205

<http://www.acu-h.jp/>

参加費

会員：4,000円

一般：5,000円

定員(20名)

定員になり次第、締切させていただきます。

申込み方法

下記の項目をメールで libservice.div@maruzen.co.jp 宛お送りください。

①お名前 ②ご所属 ③連絡先(電話番号) ④IAAL会員(団体会員の場合は団体名)/非会員

主催：丸善株式会社 図書館サービス事業部 TEL：03-6367-6055 担当：能登谷 E-mail: libservice.div@maruzen.co.jp

共催：NPO法人大学図書館支援機構 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-19-12 6F TEL: 03-5961-3401 E-mail: info@iaal.jp

ホームページ：www.iaal.jp/rda/